

一般質問



西庁舎周辺施設整備事業の 財源計画等を問う



市民とつなぐネット ● 寺元 正幸 議員

問 西庁舎周辺施設整備事業の財源計画について

答 現時点では、ワークシヨップを通じて意見交換し、必要な機能を整理している段階であり、解体費用を含めた財源見通し、施設整備方針は何ら決定していません。市民の声を聴く場については、昨年12月の石部中学校区における地域課題について考える会の開催に続き、3月に地域課題解決のワークシヨップ開催を予定しています。

問 湖南市所有財産の有効活用と今後について

答 旧石部地先の遊休地については、売却可能な条件が整い次第、財源確保、維持管理経費の削減の観点から、一般競争入札にて、売却手続きしています。市営住宅の現在利用状

態と今後の活かし方について、本市では9団地267戸を管理しています。老朽化の進行や将来需要を踏まえ、2040年までに供給目標を5団地168戸とする方針です。

問 湖南市自治会等の組織の実態と課題について

答 本市には、43の行政区と7つの地域まちづくり協議会があります。議員指摘のとおり、自治会において役員の担い手不足や退会される方、転入者の未加入、さらにはゴミステーションの利用に関する問題があります。これらの課題解決に、本市では様々な解決策に取り組みます。



類似の公共施設利用について



自由民主党湖南市議団 ● 上野 顕介 議員

問 まちづくりセンターやコミュニティセンターなど利用目的が類似している施設においては、飲食等の利用方法に違いを設けないほうが良いのではないかと。

答 まちづくりセンターもコミュニティセンターも同じように利用してもらうべきではないか。

答 まちづくりセンターにつきましては、地域住民の文化サークル活動等を主な対象とした拠点施設として位置付けており、日常的な市民活動や地域活動の場を提供する施設です。

これに対し、コミュニティセンターは、地域住民の活動に加え、企業や各種団体など幅広い主体が利用できる施設として、会議や研修、交流イベントなど

多様な用途に対応することを想定した施設です。令和5年4月より、以前からまちづくりセンターとコミュニティセンターの類似施設について、利用者からのご意見ご要望などを受け、一部のまちづくりセンターをコミュニティセンターとし、各中学校区に配置するとともに利用基準の見直しも行ってきたところです。

このような位置付けの違いを踏まえ、コミュニティセンターにおいては、さらに飲食を伴う催しにも対応できるものとなっており、利用に際しましては、衛生管理や他の利用者への配慮、使用後の清掃等に関するルールを徹底し、すべての利用者が安心して利用できるよう適切な運用に努めています。